



高槻だより



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

ふれあいコンサート・素晴らしい音色でした。

2学期がはじまってすぐに、台風の影響で2日間休校となりました。皆様のご家庭では、被害はなかったでしょうか。

各地で、台風の影響が報道される中、本校では、B棟二階の廊下天井より雨漏りがあり、29日夕方は、嵐の中業者の方も駆けつけていただき、原因を探っていただいたところです。当日は悪天候で何もできませんでしたので、台風が去って、改めて修理補修をしていただきました。



さて、9月3日(火)に、福岡県文化団体連合会主催の「ふれあいコンサート」を実施していただきました。福岡県内や他県から、クラシック楽団の方々が集まり、形成して、病院や老人ホーム、施設、学校へ派遣されコンサートを開いているそうです。北九州市の33の学校が申請し、見事当たりました。33分の1です。

「カルメンメドレー」に始まり、「ボレロ」や「剣の舞」など、耳慣れた曲を演奏していただきました。また、実際にバイオリンや打楽器を弾かせていただいたり、めずらしいハーブを弾かせてもらったりしました。それから、楽器の秘密も教えていただきました。



子どもたちは「初めて本物のバイオリンを聴いた。きれいだった。」「小さくなるよ。と、楽団の方が言われたけど、クラリネットがあんなに分解されて小さくなくても、演奏ができるなんて、不思議だと思った。」「全部の楽器が合わさって演奏されると迫力があつた。今度はオーケストラを聴いてみたい。・・・と感想を寄せていました。

本物の楽器に触れることや演奏会での体験や経験は、なかなかできません。子どもたちにとって、貴重な良い経験、体験になりました。最後は、演奏に合わせて校歌を皆で歌いました。

自分の身をしっかりと守ろう。シェイクアウト訓練を行いました。

1923年(大正12年)9月1日に発生した、関東大震災にちなみ、9月1日を防災の日とし、全国で特に地震に備えた防災訓練が行われました。北九州市の小・中学校でも、この防災の日に、地震に備えたシェイクアウト訓練を行います。地震をはじめとした自然災害は、いつ、どこで、どのように起こるか分かりません。自然災害の発生を防ぐことはできませんので、日ごろからの備えによって、その被害をできる限り小さくすることはできます。

そのとき、自分の命を守るために、どのような行動をとったらいいかについて、

- ・頭をしっかりと守る。机の下、壁際に沿って身を小さくしてしゃがむ。
- ・屋内であれば、逃げるための道の確保を(地震の際、ドアや窓を開ける)
- ・揺れが収まるまで動かない。揺れが収まってから避難を・・・

など、動画や資料を使って訓練後、学級で指導しました。

ご家庭でも、いざという時の避難場所や連絡方法など、日ごろからお子さんと確認しておいていただくと安心です。よろしくお願いします。



4年生 環境アクティブラーニング—いのちのたび博物館・

エコタウンセンターへ行きました。

9月4日水曜日、4年生は社会科見学に行きました。昨年度の4年生がエコタウンセンター200万人達成で、テレビ取材を受けたのを思い出します。

1学期に、子どもたちは、ごみ環境の出前授業を行いました。北九州市の下水やごみ問題など、教科書だけでなく、見学に行くことで実際に働いている方のお話を聞いたり、見たりして、1学期の学びをより実感したことでしょう。いのちのたび博物館では、ペットボトル顕微鏡を作成して、水草の観察をしました。子どもたちは「CO2を減らすために、車をできるだけ使わない」や「余計なものは買わずに、食べ残しをしない」など感想を交流していました。実生活に学びを生かして、生活できるとよいですね。